

「今までありがとう」

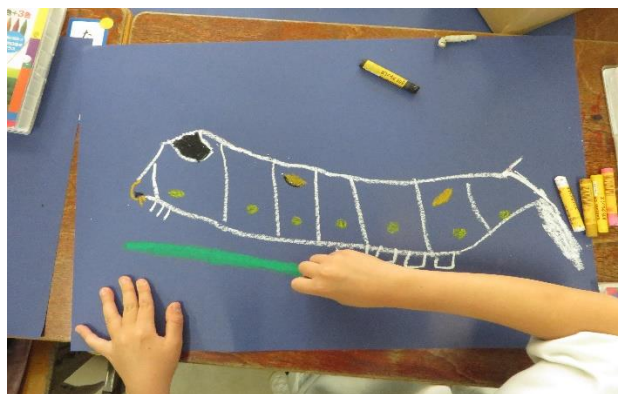
3年西組

蚕を飼うことが目的ではなく、蚕を飼うことを通して何を学ぶのかを大事に3年間学習してきました。蚕を飼った経験が、子どもたちの未来に繋がりますように。



1年生の時に、クラスの男児が学校に幼虫を持ってきたのが始まりです。

一生懸命学校中の葉を取ってきて育てましたが、1世代目は、400個から13頭しか育ちませんでした。なぜ育たなかったか、生態も調べました。



「繭玉って何だろう？」の疑問から、三九郎に使う米粉の団子「繭玉」に蚕の成長を願う由来があることがわかり、学校校庭で「三九郎」を行いました。



虫の命についても考えクラス皆と話し合い糸を取り、その糸で「あんどん」を制作。蚕を育てたことを忘れないようにとの願いです。



このあと、かがく領域で学んだ電気のしくみを用い豆電球をともし予定ですが、あんどんに灯りがともるのがたのしみですね。

998 頭の蚕ありがとう！